

研究計画概要

| | |
|-------------|---|
| 助成年度・種別 | 2016年度 一般研究助成 |
| 研究代表者 | 金山泰介 |
| 所属 | 日本大学 |
| 研究テーマ | サイバー犯罪実態及びサイバー犯罪被害通報・診断システムの可能性に関する調査研究 |
| 研究計画概要 | <p>サイバー犯罪は、サイバー空間特有の匿名性や技術的な脆弱性を巧み利用し、かつ、不特定多数のインターネット利用者に対して極めて短い時間で敢行されているが、こうした特徴から、被害実態は必ずしも明らかにはなっていない。さらに、警察での検挙件数（認知件数は不存在）及び部分的な犯罪暗数調査をみると、認知件数で把握されている刑法犯よりもその暗数は大きく、非サイバー犯罪からの転移も推測される。したがって、サイバー犯罪対策を的確に講じていくためには、サイバー犯罪発生の実態を可能な限り明らかにするとともに、継続的なサイバー犯罪の実態把握及びサイバー犯罪被害予防等の活動を迅速に展開できるよう、サイバー空間上で犯罪の認知、分析、予防を行い得るシステムを構築することが必要である。</p> <p>本調査研究は、インターネットを通じたサイバー犯罪被害実態調査を行うことにより、サイバー犯罪被害の全体像を浮かび上がらせるとともに、簡便なサイバー犯罪通報及び被害態様に応じた具体的な対処方策のアドバイスを可能にするようなサイバー犯罪被害通報・診断システム構築の可能性を探ることを目的とするものである。</p> |
| 選考委員からのコメント | <p>サイバー犯罪の重要性は高まっているが、警察庁の発表する発生・検挙件数以上の発生状況は明らかにはされていない。暗数も含め犯罪実態をあきらかにするという本研究は、アプライされた研究内容が実現されれば非常に有意義である。警察庁やJC3の全面的協力も確約されているようなので、成果が期待される。</p> |